

教 科	国語	科 目	現代の国語
履修条件 対象生徒	必修 デザイン科 1 学年		
学習目標	・論理的に考える力を伸ばし、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法	〔授業〕 ・現代の随筆、評論文などについて読解や話し合いを通じて内容の構成、論理の展開を的確に把握する。 ・情報を相互に関連付けながら、内容を解釈し、自分の考えを深める。 ・目的や場に応じた話題を設定し、情報が的確に相手に伝わるように表現する。 〔家庭学習〕 ・本文を読んで疑問を持つ。ワークシートを手がかりに学んだことについて確認する。 〔補習・その他〕 ・補習では、大学入試を視野に入れた学習を行う。 ・校内漢字テスト(全員)や漢字検定(希望者)を受けることで、基礎的な漢字力を身に付ける。		
学習計画 と ねらい	< 1 学期末考査まで > 明日をひらく 「白紙」 要点をつかむ 「水の東西」 的確に伝える「設計図を最初に渡せ！」 < 2 学期末考査まで > 論理をとらえる 「動的平衡としての生物多様性」 魅力的に伝える 工夫して話す 資料を駆使する 「『安くておいしい国』の限界」 情報を比較する 「『美しさの発見』について」 < 学年末考査まで > 根拠を吟味して読む 「贅沢を取り戻す」 考えを発信する 「白」 ・学びに向かう。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 ・情報が的確に伝わるように説明の仕方を工夫する。 ・主張と根拠の関係や、演繹、帰納に着目して文章の論理をとらえる。 ・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。 ・統計資料を正確に読み取る。 ・効果的な表現や引用に注意して読むことで自分の考えを深める。 ・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 ・問いを持ち主体的に文章を読むことで、自分の知識や考えを広げる。		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。	・内容や構成・論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。	・問いに向かう姿勢を振り返り自力で考えることを大切にしようとしている。
評価方法	○評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から総合的な評価を行う。 ○定期考査は、知識を偏重することなく、3つの観点の評価できるよう作問を工夫する。 ○定期考査や漢字テストだけでなく、授業への取り組み、提出物など、生徒の主体的な活動も重視する。		
そ の 他			